

じっきょう 家庭科資料

(通巻 61号)

みんなで家庭科を

No. **46**

巻頭

デビットカードについて考える

もくじ／

デビットカードについて考える	1
在宅で暮らす高齢者の介護	5
「食」の不均衡に取り組む「フードバンク」	9
「シリコンスチーマー」の活用法と留意点	13

デビットカードについて考える

日本電子決済推進機構 事務局長 竹内 一正

■はじめに

日本では「デビットカード」という名前を聞いたことがあっても余り馴染みがないと思いますが、米欧諸国では、デビットカードの年間取引件数がクレジットカードを上回るほど普及し、電子決済の手段として市民生活に深く浸透しています。特に米国では、2008年秋のリーマンショック以降、世界的経済低迷が続く中で、借金に当たるクレジットカード払いを少なくし、より堅実なデビットカードを利用する傾向がますます強まっています。

その「デビットカード」とは何なのかをご紹介します

ましよう。

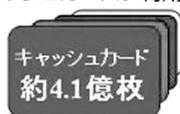
■J-Debit (デビットカード) とは

日本でデビットカードといえば「J-Debit」(ジェイデビットと呼びます)ですが、これは「キャッシュカード」をそのまま使って支払いをする即時決済サービスです。

2010年現在、日本の殆どの金融機関が発行する約4.1億枚のキャッシュカードが、全国の加盟店33万ヶ所以上でJ-Debitを利用できる状況になっています。

J-Debitが利用できるキャッシュカードの数は、

国内殆どの金融機関約1,200行
が発行する約4.1億枚の
キャッシュカードが利用可能



J-Debitの決済ネットワーク



全国の加盟店
33万ヶ所以上



家電量販店、百貨店など

キャッシュカードでも 払えるんです。



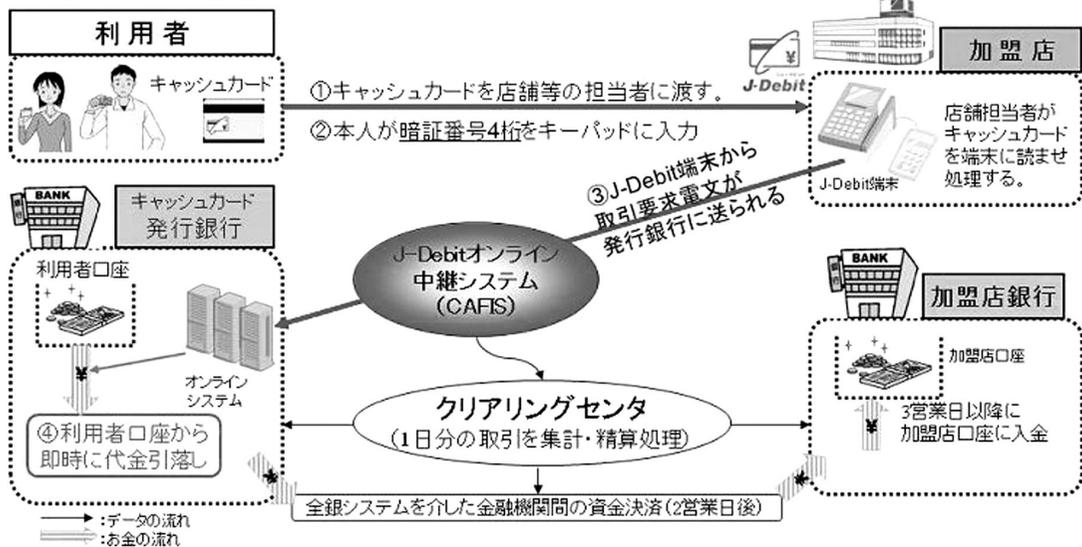
クレジットカードの発行枚数3.2億枚（2010年）を上回り、平均すると国民1人当たり約4枚持っている勘定になります。

皆さんが普段持ち歩く財布の中にキャッシュカードは必ず1枚はあると思われますから、J-Debitは実は意外と身近なところにあって簡単に利用できる便利なサービスなのです。

今まで、キャッシュカードはATMで現金を引き出すためだけに使うものと思こんでいた方も、今日からはお店などで支払う時にも使えることを是非、覚えておいて下さい。

■ J-Debit の決済の仕組み

利用者が加盟店の店舗のレジでJ-Debit（デビットカード）を利用して支払いをする場合を例にとり、決済の流れを説明しますと次のようになります（概要図を参照）。



- ① 加盟店の担当者はレジのJ-Debit 端末に預かったキャッシュカードを読み取らせ、代金の金額を入力します。
- ② 利用者は金額を確認の上、自分で暗証キーパッドに暗証番号4桁を入力します。
- ③ 端末から取引電文が送信され、J-Debitの中継システム（CAFIS）を経由してキャッシュカードを発行した銀行のオンラインシステムに電文が届きます。
- ④ 発行銀行のオンラインシステムは、利用者の口座情報と暗証番号を照合した上で、取引金額が残高の範囲内などの条件を満たしていれば、利用者口座から代金を即時に引落します。
- ⑤ 後は、日々の取引を集計・精算するクリアリングセンターで処理され、全銀システムと呼ばれる銀行間の資金決済をする決済システムを利用して、加盟店と契約している銀行に代金相当が移動した上で、最終的に加盟店の口座に代金が入金されます。

このように、J-Debitは、取引が成立した瞬間に利用者口座から代金が引き落とされることから、即時決済と呼ばれます。

■ J-Debit の特長

J-Debitは、家電量販店、百貨店、ショッピングセンターや病院など幅広い業種で利用できますが、代表的な家電量販店を例に特長を説明しましょう。

殆どの家電量販店ではJ-Debitが利用できますので、近くの家電のお店で家電製品を購入する場合を想定して、現金払いとJ-Debit利用の2つの例を比較してみましょう。

現金払いの方は、まず近くのATMで現金を下ろしてから、家電のお店に行き現金で支払うのが一般的です。銀行のATM時間外であれば手数料は自腹になりますし、液晶テレビなど高額家電製品を購入する際には、かなりの大金を持ち歩くことになりま

すから心配です。一方、J-Debitであれば、家電のお店へ直行して、キャッシュカードを提示して購入するだけです。ATMにも立ち寄る手間と手数料もなく、大金を持ち歩く必要がないので安心です。しかも、家電量販店のポイント付与はJ-Debit払いと現金が同じ率ですから大変お得です。

一般的な利用者と加盟店のメリットをまとめると以下ようになります。

☆利用者のメリット

◎銀行口座のキャッシュカードがそのまま使えますので、利便性が魅力です。

- ・クレジットカードのような入会金、年会費が不要
- ・事前のカード発行手続きが不要
- （注：一部の 金融機関では事前申請が必要）
- ・ATMと違い利用手数料が不要

（金融機関の営業時間外も）。

・事前に現金をATMで引出す手間と時間が不要、しかも大金を持ち歩く不安がない。

◎堅実な人には次の点も魅力です。

・口座の残高範囲内での利用に限られるため、使いすぎることがない。

・支払履歴が通帳印字されるので通帳を家計簿代わりに活用できる。

☆加盟店のメリット

・加盟店が支払う手数料がクレジットカードに比べ低い。

・代金回収が確実かつ迅速（即時決済のため、一般的に3営業日以降に入金）

・クレジットカードを持たない（持たない）お客様や現金持合せのないお客様を取込める。

・端末がクレジットカードとJ-Debitの共用のため、導入し易い。

■キャッシュレス決済サービスとの比較

以上、J-Debitの仕組みを説明しましたが、ここで、他のキャッシュレスの決済サービスとの比較を試みましょう。

利用者が代金を実際に支払うタイミングから分類すると、3つの方式があります（表1参照）。

最近では、Edy, Suica/Pasmo, icocaなど各種

表1

決済方式名	代表例	決済の仕組み
前払い方式 (プリペイド方式) 英語: pre-paid	電子マネー	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ、カードなどの中に現金相当額をチャージ（入金・積み増し）しておき、店舗での買い物などの時に、チャージしてある金額を支払いに充てる方式をいう。 ・チャージしてある金額残高の範囲内で支払うことができる
即時払い方式 (ジャストペイド方式) 英語: just-paid	J-Debit (デビットカード)	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗での買い物などをした（取引が成立し）瞬間に、代金が本人の銀行口座から即時に引き落とされる方式をいう。 ・口座の残高の範囲内かつ銀行が定める1日当たりの利用限度額の範囲内が原則になる。
後払い方式 (ポストペイド方式) 英語: post-paid	クレジットカード	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗での買い物などの時には、代金は支払われず、後で利用者が実際に支払う方式をいう。 ・一種の借金になるため、本人の支払い能力の信用度に応じて利用限度額（与信枠）が設けられる。

（前払い／即時／後払い決済とありますが、あくまでも利用者側の支払いタイミングの視点であって、加盟店側の入金タイミングの視点ではありません。）

4 みんなで家庭科を

の電子マネーが普及していますが、前払い方式のため、金額を事前にチャージする必要があります。チャージ金額は2～5万円程度が上限のため、主に少額の支払いに利用されます。

チャージの方法は、コンビニなどに設置されているチャージ機に現金を入れて行うのが一般的ですが、少々面倒です。しかも、チャージするため現金を時間外にATMで引き出すと手数料が余分にかかります。自動チャージという方法もありますが、クレジットカードを持っていることが前提のため、学生さんでは利用することができません。

クレジットカードは、後払い方式の代表で、国内で約3.2億枚のカードが発行されるなど普及しています。後払い方式とは、本人の社会的信用と支払い能力を判断して、一時的な借金扱いを認める信用取引が基本となりますから、本人の信用度に応じた利用限度額が定められます。また、つつい使用しすぎないように注意するのは本人の責任になります。

家庭科の授業においてクレジットカードが取り上げられますが、学生の皆さんは基本的に「支払い能力の信用がない」ため持つことができず、実感が湧きにくいのではないのでしょうか。

■学生の皆さんにとってJ-Debitとは

学生の皆さんが各種カードの保有状況は、大体、以下のとおりだと思います。

- ・学生の身分では、自分名義のクレジットカードを発行してもらうのは殆ど無理です。
- ・銀行口座は、学生の身分でも割合容易に設けることができますので、大多数の学生さんがキャッシュカードを持っています。
- ・自分の銀行口座には小遣い、お年玉、アルバイト

代や親の仕送りなどが貯金してあるでしょう。

・最近では通学定期の交通系カードや各種電子マネーのカードを持っている学生さんが多いですが、チャージは現金で行うしか方法がありません。

このように、大多数の学生さんはキャッシュカードを持っていると思われるから、J-Debitは意外と身近な存在です。

いつもでしたら、お年玉やアルバイト代で貯めたお金でお買い物をしようとする時には、ATMでまず現金を下ろしてから、普段以上のお金を持ち歩く不安感や心配を抱きながら、お目当てのお店に向かうのではないのでしょうか。

でも、J-Debitなら、ATMに立ち寄る手間や現金を持ち歩く不安もなく、お店に直行できます。そしてキャッシュカードでお支払いするだけです。とても簡単でスマートですね。

しかも、ATM手数料などもかかりませんし、家電量販店での買い物であれば現金と同じポイントがもらえるからとてもお得です。

今までATMで現金引き出しのためにあると思っていたキャッシュカードが大変身です。

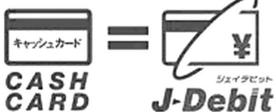
そう、J-Debitとはお店まで一緒に来てくれる「携帯ATM」の感覚で、是非、賢く活用しましょう。～詳しくは～

>J-Debit王国 <http://debitoji.com/>

>日本デビットカード推進協議会

<http://www.debitcard.gr.jp/>

キャッシュカードでも
払えるんです。



CASH CARD
J-Debit

実教出版発行 24 年度用教科書のご案内

文部科学省検定済教科書

- 034 新家庭総合
未来をひらく生き方とパートナーシップ
- 035 新家庭総合 21
- 043 新家庭基礎
未来へつなぐパートナーシップ
- 044 新家庭基礎 21
- 012 家庭基礎
自分らしい生き方とパートナーシップ

- 025 家庭情報処理
- 027 被服製作
- 050 発達と保育 新訂版
- 051 フードデザイン 新訂版

文部科学省著作教科書

- 023 生活産業基礎
- 024 ファッションデザイン
- 030 服飾文化